

常盤中学校保護者 様

須坂市立常盤中学校長 堀込 明紀

学校自己評価アンケート結果(9月)の報告

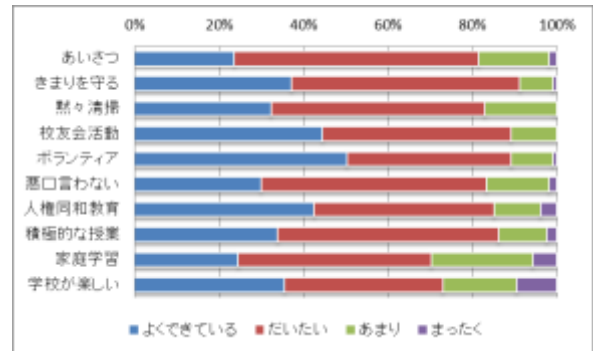
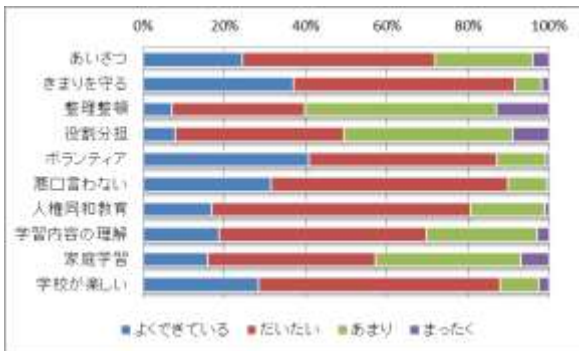
秋冷の候、保護者の皆様方には日頃より常盤中学校の教育活動にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

過日、保護者の皆様と生徒たちに本年度の学校教育目標の重点についてのアンケート調査を実施しました。ご多用の中、ご協力ありがとうございました。結果と考察についてご報告します。

1. 学校教育目標の重点について

保護者 回収率 84.0%

生徒 回答率 93.6%



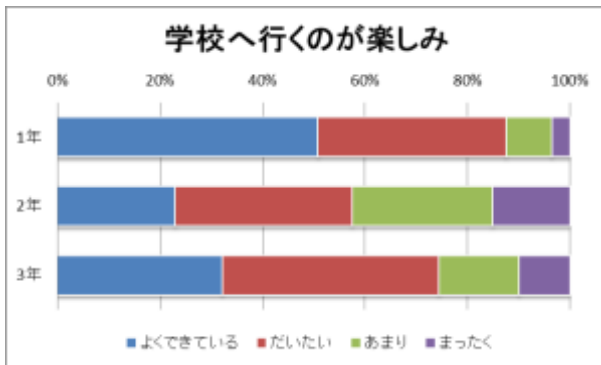
全保護者	よくできている	だいたい	あまり	まったく	わからない	合計
あいさつ	24.3%	47.4%	24.0%	4.3%	0.0%	100%
きまりを守る	36.5%	53.9%	6.6%	2.0%	1.0%	100%
整理整頓	6.9%	32.6%	46.7%	13.2%	0.7%	100%
役割分担	7.9%	41.4%	41.4%	9.2%	0.0%	100%
ボランティア	40.1%	45.4%	11.8%	1.0%	1.6%	100%
悪口言わない	30.3%	55.9%	9.2%	0.7%	3.9%	100%
人権同和教育	13.5%	51.6%	14.8%	1.0%	19.1%	100%
学習内容の理解	18.4%	50.3%	27.0%	3.0%	1.3%	100%
家庭学習	15.5%	40.8%	35.2%	6.9%	1.6%	100%
学校が楽しい	27.0%	56.6%	8.9%	2.6%	4.9%	100%

全校生徒	よくできている	だいたい	あまり	まったく	わからない	合計
あいさつ	23.3%	56.9%	16.5%	1.8%	1.5%	100%
きまりを守る	36.6%	53.1%	7.7%	0.9%	1.8%	100%
黙々清掃	31.9%	49.9%	16.5%	0.3%	1.5%	100%
校友会活動	43.7%	43.7%	10.6%	0.0%	2.1%	100%
ボランティア	49.6%	38.3%	9.7%	0.9%	1.5%	100%
悪口言わない	28.0%	49.9%	13.9%	1.8%	6.5%	100%
人権同和教育	38.9%	38.9%	10.0%	3.5%	8.6%	100%
積極的な授業	33.3%	51.3%	11.2%	2.4%	1.8%	100%
家庭学習	24.2%	44.8%	23.6%	5.6%	1.8%	100%
学校が楽しい	33.0%	34.8%	16.2%	8.8%	7.1%	100%

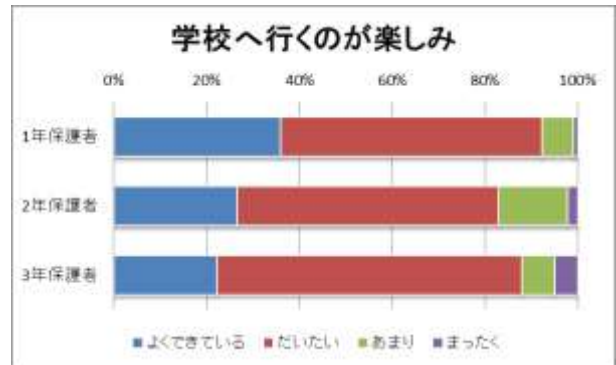
※ グラフ化にあたり「E:わからない」を全体数から除き、A～Dの合計を総数として割合を算出してあります。

- 保護者と生徒の回答率で、ほぼ同様な傾向を示していたのは、「あいさつ」「きまりや時間を守った生活」「ボランティア活動への取り組み」「悪口を言ったり傷つけたりしない」「家庭学習への取り組みと内容の工夫」の項目でした。一方、「人権同和教育への取り組みと職員の人権に配慮した言動」や「学校へ行くのが楽しみ」の項目が、保護者と生徒の回答に差が見られました。
- 学校生活における「黙々清掃への取り組み」や「校友会活動への取り組み」の項目は、80%以上の生徒が「よくできている」「だいたいできている」としていますが、家庭生活での「身の回りの整理整頓・部屋の掃除」「家庭の役割や仕事への取り組み」については、「よくできている」「だいたいできている」と評価している保護者の方は50%に満たない状況です。
- また、「授業の課題への取り組みと学習内容の理解」の項目でも、80%以上の生徒が「よくできている」「だいたいできている」としていますが、「授業やテスト勉強を通して学習内容を理解しようとするか」とについては、「よくできている」「だいたいできている」と評価している保護者の方は60%に満たない状況です。

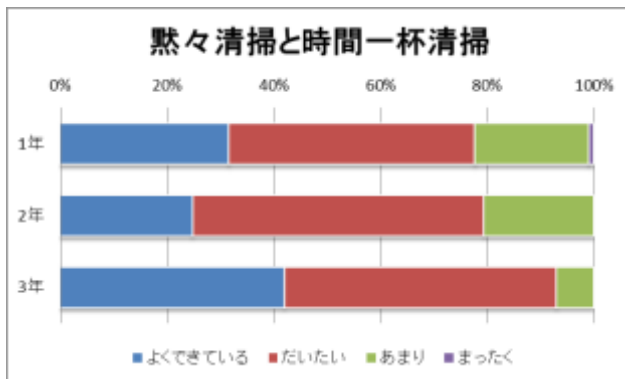
2. 今年度の学年の比較



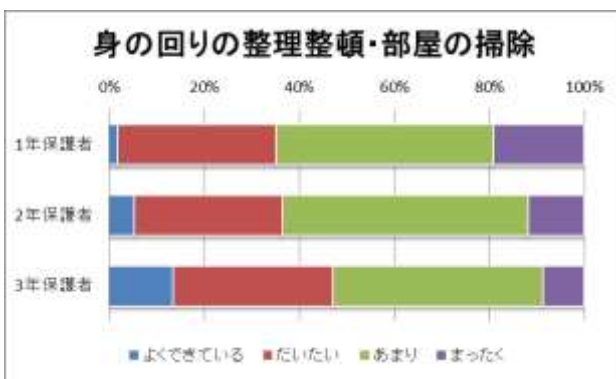
1年生の半数近くの生徒が「学校へ行くのが楽しみに生活がよくできている」と答えている一方、2年生はその割合が20%余り。さらに「まったくできていない」割合も15%を越えていることを学校全体で受け止め、改善の方策を考えていく必要があります。



保護者の評価では、学年が上がるにつれ、「よくできている」の割合が減少し、「まったくできていない」の割合が増加している。それでも「だいたい」を含めると、各学年80%以上の保護者が「楽しみに生活できている」としている。この辺が2,3年生の生徒とのギャップを感じられます。



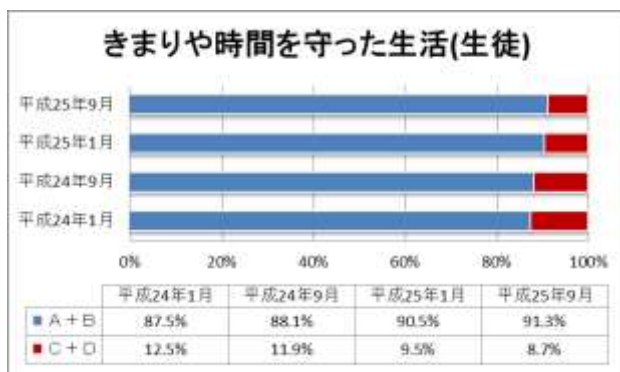
3年生の清掃に取り組む意識の高さがうかがえる結果となりました。学校全体でも清掃の状況は向上しており、さらに校友会を引き継ぐ2年生や1年生の清掃への思いが深まると常盤中学校の伝統としてしっかり根付いていくものと思います。



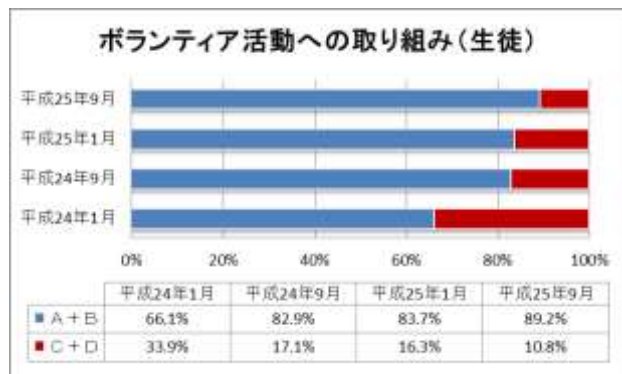
家庭での身の回りの整理整頓・部屋の掃除は、学年が上がるにつれ、よくできるようになってきています。成長の証や自覚の高まりと考えられます。こうした生徒の成長を周りで見とどけ、支えていきたいと思えます。

3. これまでの結果(平成24年1月,平成24年9月,平成25年1月実施)との比較

平成24年1月,平成24年9月,平成25年1月に同じ質問をし、特徴のある点についてまとめてみました。なお、質問の回答について「A:よくできている」と「B:だいたいできている」を「概ね良好」,「C:あまりできていない」と「D:まったくできていない」を「課題あり」とまとめてグラフにしてみました。

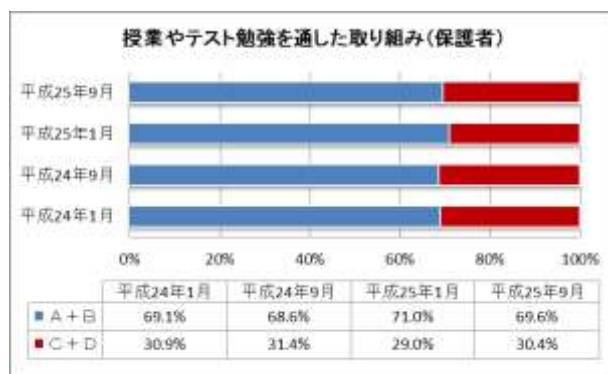


きまりや時間を守った生活については、「概ね良好」の割合が高い状況ながらも年々向上していることがわかります。学校全体が落ち着いた雰囲気になるのも、こうした生徒たちの規律と自覚によることがあり、それが学習へ向かう習慣化・学力の向上にもつながっています。



ボランティア活動についても、「概ね良好」が向上しています。常盤中学校では、校友会が中心となってアルミ缶回収・エコキャップ収集やPTAの皆様の協力による資源回収等を行い、社会福祉協議会への寄付を行っています。日々の目に見える活動が生徒にとって実感と達成感につながっており、学習や他の活動にも生かしたい点です。

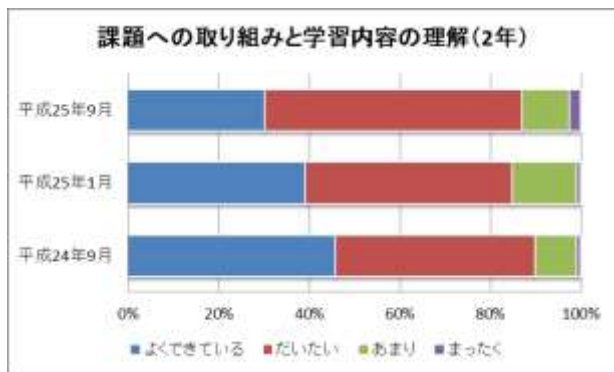
家庭の役割分担や仕事に取り組みについては、今回「概ね良好」の割合が50%を割り込みました。中学生にもなるとテスト勉強や部活動などを理由に家庭内の役割や仕事が免ぜられる傾向にあります。家族の一員として継続的に手伝いや役割を与えることが社会で生きる力となると思います。



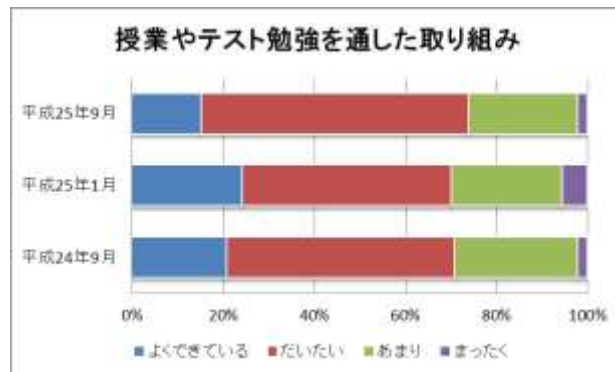
「学校の授業やテストに向けた勉強を通して学習内容を理解しようと努力しているか」保護者の方の評価は、ほとんど変動がないことがわかります。子どもたちの頑張りを温かく見守っていただいている面と、より勉強に励んでほしいという思いがあるのではないのでしょうか。それに応えられる「わかる授業」を目指したいです。

4. 前年度との比較

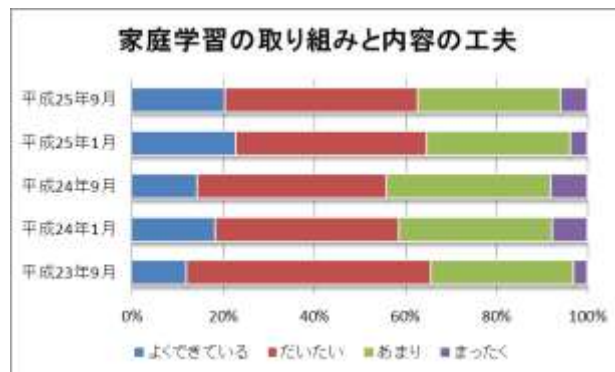
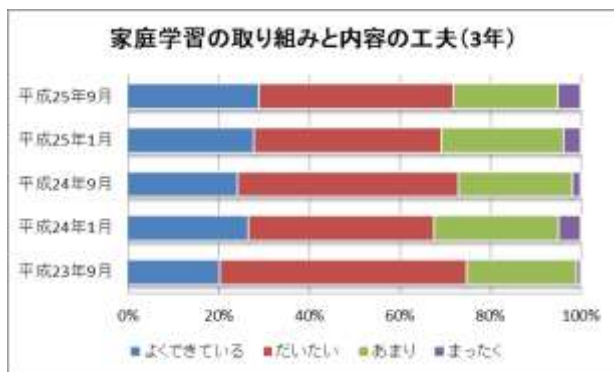
今の2年生と3年生の生徒・保護者が前年度からどのように変わったか、まとめてみました。



授業の課題への取り組みと学習内容の理解について2年生では、「よくできている」と回答した生徒が減ってきています。「だいたいできている」を含めれば80%以上いますが、この数値を落とすことなく「よくできている」と実感できる授業を工夫していく必要があります。



一方、2年生の保護者は、「あまりできていない」「まったくできていない」の合計が20%を毎回超えており、生徒の意識とは差が見られます。「もっと勉強してほしい」「力をつけてほしい」といった願いの表れでもあるので、これから行われるC調査の客観的データから検証していきたいと思います。



家庭学習の取り組みと内容の工夫について3年生では、ある程度習慣化し定着している生徒がいる一方で、「まったくできていない」と回答している生徒が5%ほどいて、これからの受検に向けた意識の向上と家庭学習の方法について再度丁寧に指導する必要があります。

家庭学習の取り組みと内容に工夫について3年生の保護者は、「よくできている」が20%を越えていることから生徒たちの頑張りを評価している様子が伺えます。

一方、40%近くの保護者の方が「もっと勉強してほしい」という願いから厳しい評価をしている感じがします。

5. 自由記述から

自由記述では、①教科指導・家庭学習・学級指導に関する件 ②部活動に関する件 ③学校職員に対する要望等、ご意見をいただきました。

これらの記述内容については、全職員で読み合わせを行い、自己を振り返り、そして改善に向けた取り組みをしていきたいと思えます。また、その中で特に要望が強かった「漢字検定の校内での実施」については、本年度中の実施が可能かどうか検討し、お知らせいたします。

6. 今後の取り組みについて

(1) 教科指導・家庭学習の充実

- ・ 単元展開に応じて生徒の興味・関心・意欲を喚起する学習問題や学習課題を設定する場面を取り入れ、個人追究や話し合い活動などメリハリがあり、生徒が粘り強く追究できる工夫をしていく。
- ・ 自己の課題にあった補充学習プリント準備や補充学習の時間を設定したり、自己の課題を克服できるような家庭学習のやり方を紹介したり、支援したりする。

(2) 学級指導

- ・ 生徒一人ひとりの成長を支援するとともに学級としてのまとまりや一体化が生まれるような学級の雰囲気作り・組織化や学級づくりの活動に学級担任が中心となって関わり、学年・学校全体で生徒にとって居心地の良い学級・学校づくりをしていく。

(3) 部活動

- ・ 今後も体罰や不適切な言動のない、生徒や保護者の思いや気持ちに寄り添った指導・部活動運営をする。

たくさんのご意見をいただき、ありがとうございました。アンケートの集計等について、ご意見・ご質問がありましたら、学校(245-0326)までご連絡ください。